



男女共同参画 ひと かがやく男女になるために



「子どもを育てることは 自分を育てること」

「じぶん育て講座」

10月17日・31日、11月7日の

3日間、市役所で「じぶん育て」講座を開催しました。小学校入学前のお子さんを持つお母さん21人が参加し、子育ての悩みを共有し、男性・女性の視点で物事を見る大切さや自分の大切さなどを学びました。

講座では、日中のほとんどを子どもと過ごすお母さんから「イライラして自己嫌悪に陥ってしまった」などの声が多く聞かれました。現在の子育ての大変さや家庭での閉そく感に苦しむ中、心に余裕を持って子育てをしたいという意見も出ました。

この講座から何かを学びたい、というお母さんたちのひたむきな姿が見られました。

「私たちの学んだこと」



石井麻美さん(大門五丁目)

「どんな子どもになつてほしい?どんな親になりたいたい?」と問い掛けられ、今まで

あまり考えたことがなかったことに気がきました。

講座を通して、子育てとは何か、自分育てとは何かを考えるきっかけになりました。皆さんとの話し合いの中で、いろいろな考えが聞けて、とてもためになりました」



永田玲子さん(方丈東)

「多くの女性は自己評価が低い。自己評価を高くするた

めに他の人に褒めてもらえばいいかという、他者は自分をけなすこともある。そのため、自分で自分を評価できるとよい」という言葉が心に残りました。講座に参加したことで、気持ちが軽くなりました」

男女共同参画とは

「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担にとらわれず、家庭で、地域で、学校で、職場で、それぞれの個性と能力を発揮できることです。

問 しあわせ推進課人権啓発室
☎44-3116

シティフラッシュ

City Flash

袋井の美味しいお茶を味わう

10月19日、市役所で市民の皆さんが審査員を務める「東海道まんなか袋井茶大賞」第二次審査が行われました。

市内の生産者から109点の出品があり、専門審査員による一次審査の上位10点が二次審査に進みました。

二次審査では、市内企業の皆さん19人と市役所を訪れた皆さん100人が、色や香りをチェックしたり、飲み比べたりして好みのお茶に投票しました。結果は次のとおりです。

大賞 鈴木勝馬さん(友永)
準大賞 松井輝民さん(大谷)
松田明久さん(菩提)

家族と学ぶ自転車マナーアップ教室



11月10日、笠原小学校4年生21人が、保護者と一緒に自転車の正しい乗り方やルールとマナーについて学びました。

磐田警察署や交通指導隊の皆さんを講師に迎え、交通ルールとマナーに関する筆記テストや実技指導を実施。保護者も児童と一緒に運動場に作られたコースを回って、自転車の乗り方について指導しました。

参加した児童たちは、自転車の正しい乗り方の大切さを改めて実感していました。